

ブリ受精卵のポビドンヨード剤による消毒の効果の検討

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2025-04-24
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 堀田, 卓朗, 佐藤, 純, 渡辺, 研一
	メールアドレス:
URL	所属:
	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014598

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



ブリ受精卵のポビドンヨード剤による消毒の効果の検討

堀田卓朗・佐藤 純・渡辺研一

ブリ受精卵をポビドンヨード剤で消毒する際の効果的で安全な処理条件について検討した。モルラ期の卵を、有効ヨウ素濃度（以下省略）0, 25, 50 および 100 mg/ℓ の海水に、0, 5, 10, 15 および 20 分間浸漬し、ふ化率と生菌数を調査した。その結果、25, 50 および 100 mg/ℓ では 5 分間の浸漬であれば、ふ化に及ぼす影響は少ないと考えられた。生菌数は 25 mg/ℓ 以上、浸漬時間 5 分で 90% 以上減少し、消毒効果が確認された。

栽培技研, 35(2), 11-14, 2008